

2024年度福山駅前広場再編実証実験について

1. 目的

福山駅前広場整備基本計画の策定に向けて、2024年2月にとりまとめた「福山駅前広場整備に係る検討内容（中間とりまとめ）」に示す「施設計画」や「動線計画」、「運営計画」の考え方に基づいた広場運営や交通施設配置の効果を検証することを目的として実施する。そして、その検証結果をフィードバックしながら、福山駅前広場整備基本計画の検討を行う。

2. 実施主体

福山駅前広場協議会（事務局：福山駅周辺再生推進課）

3. 検証内容

（1）広場運営の効果検証

- ・民間事業者の企画提案によって広場運営を試行し、将来の広場整備を見据えた効果的な使用・運営・管理のあり方を検証

（2）交通施設配置の効果検証

- ・タクシーのショットガンシステムによる運用を検証
- ・路線バスの施設量縮小による運行への影響を検証
- ・送迎バス乗降場の再配置による効果を検証
- ・交通規制による周辺交通への影響を検証

4. 実施期間

2024年9月25日（水）から同年10月25日（金）までの間

※上記期間中に交通施設の配置換えや交通規制を実施

各施設の使用期間や交通規制の実施期間は別途周知する

5. 実施内容

①民間事業者による広場運営

- ・ タクシー乗降場・待機場やバス案内所前、路線バス乗場（6番・7番）を活用
- ・ プロポーザル方式で運営事業者を選定予定

②タクシー乗降場・待機場の移設とショットガンシステムでの運用

- ・ タクシー乗降場・待機場を移設
- ・ カメラとモニターを使用したショットガンシステムでの運用を実施

③路線バスの施設量の縮小

- ・ 路線バスのバース数を12バースから10バースに縮小して運行

④送迎バス乗降場の再配置

- ・ 伏見町北側とアイネス前・郵便局前に配置してある送迎バス乗降場を移設
- ・ バス乗降場を配置する道路を一方通行で運用

⑤高架下空間に送迎バスの待合い空間を創出

- ・ 送迎バス乗降場に近接する高架下空間（自転車駐輪場内の一部など）を待合空間として活用



6. 広場運営事業者の選定

(1) 将来の駅前広場運営の考え方

基本方針では、駅前広場の再編に当たって、次の利用者目線の価値を大切にすることを示しています。多様な人々が訪れる駅前広場には、曜日や時間帯、訪れる人のニーズに柔軟に対応し、日常的に利用される仕組みや仕掛け、機能が必要だと考えています。また、多くの人々が訪れる駅前広場だからこそ、多様な情報が集積し、情報の発信や交換ができる場となる必要があると考えています。

よって、今回の実験では、「平日・休日の朝昼夜に対応できるコンテンツの配置」や「多様な人々を受け入れられる広場運営」、「多様な情報が発信されることで駅前広場がメディアの役割を果たせる企画」などの提案を求めています。

使いやすさ

- ・ 徒歩や車両でスムーズに移動できる
- ・ 公共交通が使いやすく、車を持たなくても暮らせる
- ・ 周辺施設との連携により、便利に使える
- ・ 新しいヒトやモノ、情報に出会えて、役に立つ
- ・ 柔軟性や可変性のある空間で使いやすい

過ごしやすさ

- ・ 誰でも簡単に様々な活動をすることができる
- ・ 誰もが（一人でも）居心地が良く過ごすことができる
- ・ 天候によらず、使うことができる
- ・ 心地よい穏やかな光景を見ることができる
- ・ 歩いたり会話する機会が増え、健康に暮らせる

安心感

- ・ 社会的なつながりを得られる
- ・ 徒歩や車両で安全に移動できる
- ・ 防犯性の高い環境で安全に使える
- ・ 緊急時に安全に逃げ込める

福山らしさ

- ・ 福山の歴史や文化を感じられる
- ・ 福山の気候や風土との調和を感じられる
- ・ 駅周辺や周辺地域の様々な魅力を感じられる
- ・ 訪れる人々が愛着を感じられる
- ・ まちの多様性やにぎわいのエネルギーを感じられる

(2) 基本コンセプト

「結節（つながり）」

これまでの意見を踏まえ、「人とまち」、「人と人」、「人と場所」、「人と情報」、「人とモノ」、「人とコト」、「福山駅前と市内、備後圏域」といった、「結節（つながり）」を生み出す機能が重要であると考えています。

そのため、様々なつながりを得られる企画の提案を求めています。

(3) 業務内容

- ・実証実験における広場運営の内容に関する企画
- ・関係者との調整（事前準備期間中から実証実験実施期間中まで）
- ・実証実験における広場運営の準備（必要な資材の調達を含む）
- ・実証実験における広場運営のプロモーション
- ・実証実験における広場運営の実施
- ・実施期間中の環境整備（清掃、什器の管理など）
- ・実証実験で得られた成果を様々な媒体で効果的に伝えるための動画制作

(4) プロポーザル評価項目

- ・業務実績、見積額
- ・企画提案書内容：実施方針、実施体制、実施手順、実施内容等（広場運営の考え方、デザイン、情報発信、ローカル、ライフスタイルなど）
- ・プレゼンテーション

(5) 選考スケジュール

2024年7月24日 プレゼンテーションの実施

2024年7月25日 審査結果の通知